

## 熊本城 ミュージアムわくわく座

「わくわく」とは、日本語で「スリル」や「興奮」を意味する言葉です。「熊本城 ミュージアムわくわく座」では、その名の通り、熊本城の歴史を楽しく、インタラクティブに、そして子供にもわかりやすく紹介しています。見どころとしては、2016年4月の地震で瓦が剥がれ落ち、石垣が崩れた様子をプロジェクションマッピングで再現した城の3Dモデルや、地震直後の被災した城の映像が流れるシアタールーム、進行中の復旧工事の様子を映したライブ映像などがあります。西南戦争（1877年）で失敗に終わった熊本城の城攻めを、自動式の紙芝居（切り絵を使って朗読する路上公演）で紹介しています。その際、西郷隆盛（1828-1877）が「官軍に負けたのではなく、清正公に負けた」と語ったことは有名です。

2階には大劇場があり、バーチャルリアリティでの城内見学（多言語の字幕付き）や歴史的な出来事のライブパフォーマンスを楽しむことができます。日本で唯一のレゴ認定プロビルダーが7万5000個のプラスチックブロックで作った熊本城の模型は、愛好家にはたまらないでしょう。江戸時代の武將に扮して立派な駕籠に座ったり、馬に乗ったりと、館内のいたるところで記念撮影のチャンスがあります。さらに、本格的な時間旅行を満喫したい方は、ロビーに戻って衣装をレンタルし、侍や忍者、町娘の格好をして見学を続けることも可能です。